

## リリースノート：Dominion<sup>®</sup> KX III ユーザーステーション（バージョン 3.1）

日付：2019年2月

サポート対象の Dominion KX モデル：

DKX3-108, DKX3-116, DKX3-132, DKX3-216, DKX3-232,  
DKX3-416, DKX3-432, DKX3-464, DKX3-808, DKX3-832, DKX3-864  
DKX2-101-V2

互換性の情報：

- ・3.1へアップグレードするためには、ご利用中のユーザーステーション 2.0.1 である必要があります。
- ・Dominion KX III のファームウェアは、リリース 3.2 以降である必要があります。
- ・CommandCenter Secure Gateway(CC-SG)と連携するためには、CC-SG のファームウェアが 7.0 である必要があります。

### Dominion KX III ユーザーステーションの概要

Dominion KX III ユーザーステーションは、KX III KVM-over-IP スイッチに接続されているリモートサーバーやワークステーションへ IP ネットワーク経由でアクセスして高いパフォーマンスを提供する単体起動のクライアント製品です。研究室やスタジオ、コントロールルーム、オフィス、データセンター等に最適なユーザーステーションは、IP ネットワークの標準的な Ethernet ケーブルである Cat5/6 を利用して、容易に設置することができます。ユーザーステーションには、柔軟性と生産性に優れたパワフルなデスクトップユーザーインターフェースが用意されており、シングル且つデュアルモニターで複数の KVM-over-IP セッションをサポートし、約 8 台のターゲットへの同時アクセス、参照、制御が可能です。

### ファームウェアの概要

2.0.1 のアップデートであるバージョン 3.1 は、RDP/VNC/SSH アクセスのサポート等の機能拡張が含まれています。その他の強化機能として、デスクトップ上のウインドウレイアウトの保存と復元、ユーザーステーションの Web ベースリモートコントロール（ベータ版）があります。また、セキュリティ強化と信頼性向上のために、いくつかの重要な修正と更新が含まれています。

### Dominion KX III ユーザーステーション リリース 3.1 の新機能

・**RDP/VNC/SSH 接続のサポート** ユーザーは一般的なアクセス手段である RDP、VNC、SSH を使用して、ユーザーステーションからサーバーや他のデバイスにアクセスできるようになりました。この機能は、CommandCenter を使用する場合とスタンドアロンの場合の両方で使用できます。後者の場合、ユーザーはアクセスするために「Target」を作成する必要があります。

・**ウィンドウレイアウトの保存と復元** ユーザーは「Window Layout」によって、複数のKVM ウィンドウのレイアウトを保存・復元することができます。レイアウトには以下の情報が含まれます。

(1) ウィンドウのレイアウトとサイズ

(2) 接続先のサーバー

ユーザーはホットキーまたはメニューを使って、素早くレイアウトを変更できます。レイアウトはデュアルモニターも対象として、最大 16 のレイアウトを作成できます。ユーザーはログイン時に使用されるデフォルトのレイアウトを設定することができます。また、レイアウトは追加、変更、編集する機能が用意されています。

・**ユーザーステーションの Web ベースリモートコントロールのサポート** リモートコントロール機能は、ユーザーステーションに直接接続したキーボードやマウスを使用せずに、ユーザーステーションを Web ブラウザ経由でコントロールもしくは切り替えることができます。ポートにアクセスすると制御されているユーザーステーションに接続されたモニターにフルスクリーンで表示されます。

※本機能はベータ版のため以下の制限があります。(2019 年 Q4 正式リリース見込み)

1) HTTPS アクセスをサポートしません。

2) 複数のユーザーによる制御をサポートしません。(この機能を使用してログインすると既存のログインユーザーは強制ログアウトされます)

・**デスクトップ背景のカスタマイズをサポート** ユーザーにセキュリティや企業目標を意識させるために、ユーザーステーションのデスクトップ背景として独自のイメージファイルを使用できるようになりました。

・**LDAP を介したシングルサインオンをサポート** ユーザーステーションへログイン時に入力した LDAP の認証情報によって、Dominion KX III にもアクセス可能となりました。CommandCenter によってログインアカウントを集中管理していない環境では、ユーザーがそれぞれの KX III にログイン名とパスワードを入力する必要がありましたが、ユーザーはこの煩雑な作業から解放されます。

・**ネットワーク障害回復後の KVM 再接続機能をサポート** ネットワーク障害が発生した場合、障害回復後にユーザーステーションは自動的に KVM への再接続を試行します。

・**デュアルビデオ/デュアルモニターでのシングルマウスモードのサポート** ターゲット接続時にウィンドウ左上に用意された「Single Mouse Cursor」は、デュアルディスプレイ環境でも使用できるようになりました。これにより、マウスカーソルを別のディスプレイに移動する事が可能です。

・ **KVM 接続中の PC 共有通知のサポート** KVM に接続中のユーザーステーションのユーザーは、別のユーザーが PC 共有機能を使用して別のユーザーが接続もしくは切断すると、都度メッセージが表示されます。また、他のユーザーが接続している時は、「緑色の目」のアイコンが表示されます。

## Dominion KX III ユーザーステーションドキュメント

Dominion KX III ユーザーステーションに関する以下のユーザー向けドキュメントをご用意しております。

・ **Dominion KX III ユーザーステーションガイド**

— ユーザーステーションのユーザーおよび管理者機能に関するドキュメントです。

・ **Dominion KX III ユーザーステーションクイックセットアップガイド**

— ユーザーステーションの初期セットアップを記載したドキュメントです。

ユーザーステーションのドキュメントは、ラリタンの Web サイト (<http://www.raritan.com/>) からダウンロードできます。サポートページの「製品を選択してください」のプルダウンメニューから「Dominion KX III ユーザーステーション」を選択すると、ドキュメントがリリースごとに表示されますので、ご希望のリリースをクリックしてください。

## オンラインヘルプ

ユーザーステーションは、[Main Menu]->[Help]->[User Manual]からオンラインヘルプを呼び出すことができます（要インターネット接続）。[Contents]、[Index]、[Search]を利用して、適切なトピックを参照することが可能で、テキストや画像を用いたユーザーステーションの全容をご参照いただけます。また、このガイドには関連事項へのリンクが多数用意されています。ラリタンの Web サイトでは、「サポート」セクションからオンラインヘルプをご利用いただくことも可能です。

## 互換性情報

1. リリース 3.1 へアップグレードするためには、ご利用中のユーザーステーションにおいてリリース 2.0.1 が動作している必要があります。
2. このリリースは、Dominion KX III のリリース 3.2 以降および DKX2-101-V2 に対応しています。
3. ユーザーステーションは、Dominion KX, KX II, LX, KSX II には対応していません。
4. ユーザーステーションは、ラリタンが提供する CommandCenter Secure Gateway 7.0 と連携可能です。

## 留意事項および重要な情報

ユーザーステーションに関する重要な情報につきまして、以下をご参照ください。

1. **CC-SG 連携** このリリースでユーザーステーションは CC-SG と連携します。
  - a. 今回のリリースで、CC-SG に用意されている Dominion KX III と DKX2-101-V2 の接続インターフェースがサポートされます。（その他の接続インターフェースは未サポートです）
  - b. CC-SG と連携する新機能には、下記の制限事項があります。
    - 1) スクリーンショットキャプチャ機能の未サポート
    - 2) Port Scanner 機能の未サポート
    - 3) クラスタ構成の CC-SG との連携の未サポート

※詳細はユーザーステーションのドキュメントご参照いただくか、サポート窓口へお問い合わせください。なお、これらの制限は、今後のリリースで対応見込みです。

2. **VNC/RDP/SSH 接続** RDP もしくは SSH で接続している場合、Navigator に接続中を表す強調表示（太字）をしません。また、RDP と SSH 両方のインターフェースを持つターゲットは、「open in current」および「close」メニューを表示しません（VNC 接続は表示します）。なお、RDP 接続のターゲットに認証情報が設定されていない場合、Navigator から選択しても RDP ウィンドウは起動しません。
3. **Port Scanner** セカンダリモニター上で Port Scanner を長時間実行していた場合、一時的に停止してしまうことがあります。対処としては、一旦 Port Scanner を閉じて再実行するか、[Pause] ボタンを押してから [Resume] ボタンを押す必要があります。
4. **管理者用初期パスワード** セキュリティの観点から、初期パスワードの変更を推奨します。
5. **2 種類のユーザー認証** ユーザーステーションでは、(a) ユーザーステーションにログインする認証（ログインユーザー/パスワード）と (b) Dominion KX III にアクセスするための認証が使われます。

(a) ユーザーステーションにアクセスするためには、ユーザーステーションの認証が必要であり、また認証情報によってユーザーステーションの管理機能へのアクセス権限が割り当てられます。これらの認証情報は、ユーザーステーションの管理者によって作成されます。

(b) Dominion KX III の認証情報は、KVM スイッチに接続されているサーバーへの接続可否が判定され、仮想メディアやリモート電源制御といった付加機能の割り当てを行いません。

CC-SG と連携する場合、ユーザーステーションへの認証と KVM スイッチの認証は使用されず、CC-SG の認証情報が利用されます。この場合、ユーザーステーションで認証情報を設定する必要はありません。

6. **ユーザー毎の認証情報** Dominion KX III のユーザー認証情報は、各ユーザー毎に保存されます。CC-SG を使用する場合を除き、ユーザーは使用する各 KVM スイッチ毎に各々のユーザー認証情報を入力・保存する必要があります。
7. **FIPS 140-2 モード** FIPS 140-2 暗号モジュールを利用する場合、以下の制限事項があります。
  - a. KX III スイッチのターゲットに接続するためには、FIPS 対応の現行の Windows OS 等や KX III のルート証明書をインストールしたユーザーステーションが必要です。
  - b. 暗号化された LDAP 接続である LDAPS を利用する環境では、FIPS 140-2 暗号モジュールを使うことはできません。
  - c. TLSv1.2 を使用する環境で FIPS 140-2 暗号モジュールが有効になっている場合、KX III のターゲットに接続することはできません。
8. **ユーザーブロック機能** KX III の「ユーザーブロック」機能が有効である状態で、ユーザーステーションから誤ったユーザー認証情報を複数回入力すると、その KX III に対するアクセスが自動的にブロックされます。これを解除するためには、KX III の管理者に問い合わせてください。
9. **ユーザーステーションの停止手順** ユーザーステーションを停止する場合は、[Leave]->[Shut Down]を実行してください。ユーザーステーションが起動状態の時に電源ボタンを押したり、電源プラグを抜いてしまった場合、データベースが破損することがあります。
10. **ビデオ機能に関する留意事項** ユーザーステーションには3つのディスプレイポートが用意されていますが、同時に接続できるモニターは2つまでです。DisplayPort や HDMI は、映像と音声の両方の信号を利用できますが、音声を利用する場合はご利用のモニターが音声出力に対応している必要があります。また、デュアルモニターに対応しています。
11. **音声に関する留意事項** [Auto Connect Audio]を有効にしていない場合、ターゲットに接続後、手動で音声接続を行なうことが可能です。
12. **ネットワークに関する留意事項** ユーザーステーションのデフォルトのネットワーク設定は [Automatic (DHCP)]です。静的アドレスが必要な場合は、Dominion KX III の設定より先にネットワーク設定を実施してください。なお、Dominion KX III の HTTPS および Discovery (検出ポート) の TCP ポートの設定を初期値から変更しないでください。
13. **デュアル LAN ポート** ユーザーステーションの2つの LAN ポートは、同じサブネットにも異なるサブネットにも接続可能です。ユーザーステーションの電源を入れた時、もしくは再起動した時に両方の LAN ポートがネットワークに接続されていますと、ユーザーステーションはいずれかのネットワーク接続をデフォルトとして選択します。ただし、いずれか、または両方の接続のネットワーク設定を変更した場合、直近で変更されたネットワークが自動的にデフォルトの接続となります。

(注) デフォルトの接続は [Connection Information] ダイアログで確認できます。
14. **Ctrl+Alt+Del** ユーザーステーションで使用しているキーボードで Ctrl+Alt+Del キーを入力しても、ターゲットには送信されず、デフォルトではユーザーステーションのシャットダウンもしくは再

起動を実行するダイアログが表示されますこのキーシーケンスをターゲットへ送るためには、ターゲットのウィンドウを開いているときに[Send Ctrl+Alt+Del]ボタンを押下するか、ユーザーステーションの[Hotkeys]の設定を変更する必要があります。

15. **仮想メディア** ターゲットサーバーに接続された仮想メディアを切断する際は、「安全な取り外し」または「イジェクト」を実行する事をお勧めします。[Read/Write]（読み取り／書き込み可能）モードが有効の状態での手順を実施せずに仮想メディアを切断した場合、データの損失が発生する恐れがあります。

16. **ファームウェアのダウングレード** ファームウェアのアップグレード機能は、基本的にダウングレードを許可しておりません。ダウングレードが必要な場合は、テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。なお、ファームウェアのアップグレード（必要に応じてダウングレード）を行なう場合は、ユーザーステーションのバックアップを取る事を強く推奨します。また、アップグレード中にユーザーステーションの電源は切らないでください。

17. **KVMのティア構成とブレードサーバーへの接続** 現行のユーザーステーションは、Dominion KX IIIのティア構成とブレードサーバーへの接続をサポートしていません。

18. **シリアルポート** ユーザーステーションには運用管理向けのシリアルポートを用意していません。

19. **オンラインヘルプ** オンラインヘルプをユーザーステーションから表示した場合、[email this page], [send feedback], [print this page]の各ボタンは利用できません。これらのボタンを利用したい場合は、インターネット環境に接続されたPC等のWebブラウザから操作してください。

## ファームウェアのアップグレード

**前提条件：リリース 3.1 へアップグレードするためには、ご利用中のユーザーステーションにおいてリリース 2.0.1 が動作している必要があります。**

・ラリタンでは、ソフトウェアの強化、新機能、改良などを含むファームウェアのアップグレードリリースを提供しています。アップグレードモジュールは、ラリタンのWebサイトから入手してください。

<http://www.raritan.com/jp/>

「サポート」ページの「製品を選択してください」のプルダウンメニューから「Dominion KX III ユーザーステーション」を選んでください。

現在提供中の最新のファームウェアが表示されますので、必要に応じてダウンロードしてください。

・ファームウェアのアップグレード手順は、ユーザーステーションのオンラインヘルプもしくはユーザーマニュアルを参照してください。

・アップデートを実行する前に、新しいファームウェアのリリースノートをご参照ください。

・ご不明点は、ラリタンのサポート窓口までお問い合わせください。